

## 国際会議から 第5回日米音響学会ジョイントミーティング

本国際会議は、日本と米国の音響学会のジョイントミーティングで約10年に1度行われています。日米の音響学会から173セッション、約2050件もの講演があり、音に関する、生物、医療、建築、騒音から信号処理に至るまで、さまざまな分野からの講演が行われました。そのなかで鉄道に関しては沿線騒音・振動に関する発表が9件でした。

筆者は騒音のセッションで、車内騒音低減に向けた車体構造である「吊り床構造」について発表を行い、「乗客や



後藤友伯  
車両構造技術研究部  
車両振動研究室  
副主任研究員



筆者の発表風景



Special Session「ハワイ音楽の文化」

正式名称：5th Joint Meeting of the Acoustical Society of America and Acoustical Society of Japan  
 開催国：アメリカ合衆国(ホノルル)  
 期間：2016/11/28 - 12/2  
 主催：Acoustical Society of America, 日本音響学会  
 開催頻度：不定期  
 次回開催予定：未定  
 ホームページURL：<http://acousticalsociety.org/content/5th-joint-meeting-acoustical-society-america-and-acoustical-society-japan>

座席の荷重を受ける箇所を変えても強度は大丈夫か?」, 「TGVなど連接台車を有する車両にも効果があるか?」などの質問を受け、有意義な議論を行いました。

騒音のセッションでは、航空機、道路、鉄道などの公共交通からの騒音環境のモニタリング、評価に関するものが多く、ハイブリッド自動車の普及により道路騒音が低下する可能性が示唆されるなど、従来の評価方法を現状と検証し必要に応じて見直すことは重要だと感じました。

現地の方は“Hello”の代わりに“Aloha”を使っていました。これは単なる挨拶ではなく相手を尊重し思いやる心の現れだそうです。観光地として人気のハワイですが、「おもてなし」の心は日本と通じるものがあると感じました。